

第三回ふげん社写真賞グランプリ受賞作

浦部裕紀 空き地は海に背を向けている

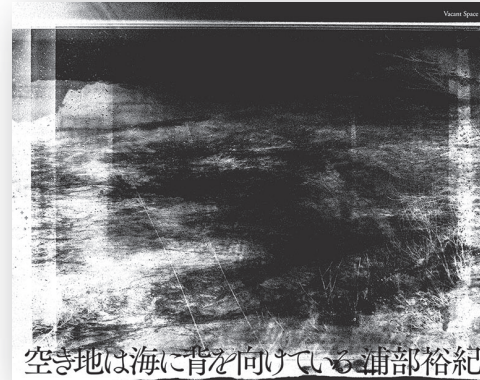
——あの映像はぼくの記憶の水底に澱のようなものを残し、それは今になって確かな熱を帯びていた。（収録テキストより）

このたび、2023年に開催された第三回ふげん社写真賞で、エントリー 138名からグランプリに輝いた、1985年浦部裕紀の写真集『空き地は海に背を向けている』を刊行します。

本作『空き地は海に背を向けている』は、2011年3月11日の東日本大震災に端を発しています。当時東京にいた浦部は、メディアが連日衝撃的な映像を流し、「連帯」を熱心に呼びかけ、そしてそれを忘れていく社会に強烈な違和感を抱いていました。9年後、パンデミックが全世界を覆い、「自粛」や「ステイホーム」などの言葉が飛び交うようになった時、浦部は被災地で「安心と安全」のために建設された防潮堤のことが気になり、複数回にわたって足を運ぶことになります。

そこで海と陸を無機質に分断する巨大な防潮堤と、コピー&ペストを繰り返したような防風林の、あまりに単調すぎる風景を目の前にして、当時繰り返しモニター越しに見ていたショッキングな津波の映像の記憶との、あまりの落差に眩暈がしたと言います。その実感を一枚ずつ定着するかのように、岩手県宮古市から茨城県東海村までの海岸線沿いの空き地や、震災伝承館の模型、延々とつづく防潮堤、そして靄のように脳裏に浮かび上がる津波の映像を、東京の自宅でモニターにシフトレンズを向け長時間露光撮影していきました。

東日本の海岸線の景色と、脳裏に焼き付いて離れない映像の記憶が、交互に立ち現れるこの大判写真集は、浦部が社会や自分自身に対して感じた「やりきれなさ」や「怒り」が映り込み、2011年以後に生きる私たちに強く揺さぶりかけるでしょう。



浦部裕紀『空き地は海に背を向けている』

発行所：ふげん社（2024年6月30日）

造本設計：町口 寛

サイズ：B4変形（249×312mm）

仕様：並製本、オープンバック

頁数：96頁

写真点数：86点

定価：6,600円（税込）

ISBN：978-4-908955-30-3

プロフィール：浦部裕紀 Hiroki Urabe

1985年、東京都生まれ。2010年、早稲田大学

創造理工学研究科建築学専攻修士課程修了。

第11回、第13回写真「1_WALL」ファイナリスト。

第1回、第2回ふげん社写真賞ノミネート。2023年、

第3回ふげん社写真賞グランプリ受賞。

展覧会情報：

第三回ふげん社写真賞グランプリ受賞記念

浦部裕紀個展「空き地は海に背を向けている」

2024年6月28日（金）～7月21日（日）、ふげん社



▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX：03-3721-1922

TEL：03-6715-6121

mail：info@tsubamebook.com

http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	新刊 ふげん社	https://fugensha.jp https://www.shashin.tokyo/ 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
ご注文数	浦部裕紀『空き地は海に背を向けている』	
ご担当： 様	ISBN 978-4-908955-30-3 C0072 定価：6,600円（本体6,000円+税10%）	